

# 大賞・優秀校の概要

## 食育大賞

### ・大津市立瀬田東小学校

「いのちや健康の大切さを理解できる子の育成を目指して」というテーマを掲げ、好き嫌いの中でも特に野菜嫌いが多いという実態から、野菜を育て、調理し、人に感謝して食べる実践に取り組んでいる。給食の残菜も嫌いな食べ物調査結果も、野菜が多かったのも、3年生では「残食ゼロ作戦」や苦手野菜の料理コンテストにチャレンジするなど、各学年ごとに体験活動と食に関する指導を工夫して行っている。さらに、昨年配置された栄養教諭が中核となり、調査結果を活用し児童の実態にあった指導を全学年で展開し、全教職員が共通理解をして日頃の給食指導にも地道に取り組んでいる。

児童の元気もりもり委員会では、「食育の日」の校内放送や旬野菜の掲示物作成を担当し、食育推進を盛り上げている。また、校内食育推進体制を整えるとともに、学校保健委員会、PTA活動に食育テーマを計画的に盛り込み、地域や家庭への啓発や通信による発信も活発である。

昨年は4.4%であった朝食欠食率が、今年は2.5%に減少し、顕著な成果をあげている。継続した取組によって、少しずつ食に対する児童の意識の変革が見られるようになり、保護者の食に対する関心や意識が高まるとともに地域・生産者との交流も広がってきた。

## 優秀校

### ・高島市立なのはな幼稚園

日頃の園児の様子から、食べることへの興味が無い、喜んで食べることが少ないと感じ「子どものころに思い出の種をまこう～元気なころとからだは食育から～」というテーマを設定し、次の5点から継続的に取り組んでいる。

年間栽培活動 畑作りから草抜き、収穫まですべてを体験する H15より幼児料理教室(年数回)実施 発達段階や実態に応じた食に関する指導の工夫 専門家や地域人材の活用 家庭へのお便り配布 - これらの取組を通して、味覚を含めた五感すべての体験が大事であると実感し、園児の心に感謝の気持ちや自尊感情が生まれてきた。

## 優秀校

### ・甲賀市立大原小学校

以前より「歯と口と食」に係った活動を充実・推進してきたが、児童実態としてむし歯、近視、肥満、アレルギー等の増加とともに心の問題も出始めたことや、食生活の改善の意識はあるが実践がなかなかとまならない等の理由から、今年度は食育に主眼を置いて「歯(ハ)ロー・食生活」と題して、PTA保健推進委員会を中心に取組を継続してきた。

PTA保健推進委員会の活動として、手作り歯磨きボードの作成(各クラスで活用) 「食」学年出前講座の実施(朝時間の活用) 例年実施事業の継続実施(歯...テスター、親子チェック、清涼飲料水糖度調査)、親子給食試食会 - 等に計画的に取り組んでいる。その結果、「食」出前講座で知識もアップし、実践への意識の高揚が見られる。

## 優秀校

### ・近江八幡市立八幡小学校

高学年における栽培活動の取組があまりなく、学級園の活用率が低かった。児童は、土を触ったり耕すことをいやがる傾向があり、「食に感謝を」の呼びかけもかけ声だけに終わっていることが多かったので、昨年度配置された栄養教諭を中心に、学校全体をあげて食体験の取組を充実させた食育推進している。

各学年の主な取組は、1年生健康推進委員の指導でスイートポテト作り 2年生豆の栽培とさやむきをして豆ご飯の炊飯 3年生収穫大根でおでん作り 4年生農業委員の指導で味噌作り 高学年では家庭科の調理で自家製の食材(味噌、野菜)を使用 鍋給食等。

児童の食に関する意識調査を昨年度と比較すると、給食が好き(60% 77%)給食を残さない(40% 80%)朝食を毎日食べる(87% 93%)となり、食べ物を大切にしたり、給食室への感謝の声かけも多くなり、児童の活気や言動にもよい変化が見られる。

## 優秀校

### ・大津市立唐崎中学校

「自ら弁当を作る(詰める)日～毎月20日は手作り弁当の日～」を設定し、朝食抜きの登校、生活習慣および栄養バランスに係わる課題を改善するために取り組んだ。本校は、給食は実施しておらず弁当なので、好きな献立への偏りや菓子パン等考えさせたかった。

H17.18年度生活実態調査を実施し、夜更かし朝食欠食の実態を知り、歯磨きと併せて保健指導を工夫 月1回手作り弁当の日に食育指導、食育通信の発行 生徒保健委員会(弁当・おかずの作品募集) 教科等指導の充実 保護者への栄養おやつ紹介等に取り組む、食に関心を持ち食生活を改善する工夫や手作り弁当をする生徒が増加している。

また、保育園・幼稚園・小学校・特別支援学校とも連携し、食と健康の情報交換ができた。

## 優秀校

### ・県立湖南農業高等学校

「地域に発信！草津あおばなによる商品開発」食品化学科による地域連携の取組

草津市の花である「あおばな」を利用した商品の開発の依頼を、市より受けたことにより「あおばな」粉末利用した製品を作り、即売会にてモニター調査実施 モニター結果より市と企業と連携して商品開発に努力 高校生ブランド商品化についての認証や販売話 あおばな粉末入り湖南農高特産物カレーを携えて高校生カレー甲子園へ出場(準優勝)など、活発に活動を展開している。

現在も、草津あおばなの町「草津」の復活のために、商品開発に取り組んでいる。「あおばな」入り商品の認証や、米パンの学校給食への提供、ミルク飴の商品化販売、特産カレーの社員食堂メニュー入りの依頼など、地域との連携、情報発信や交流に努めている。